

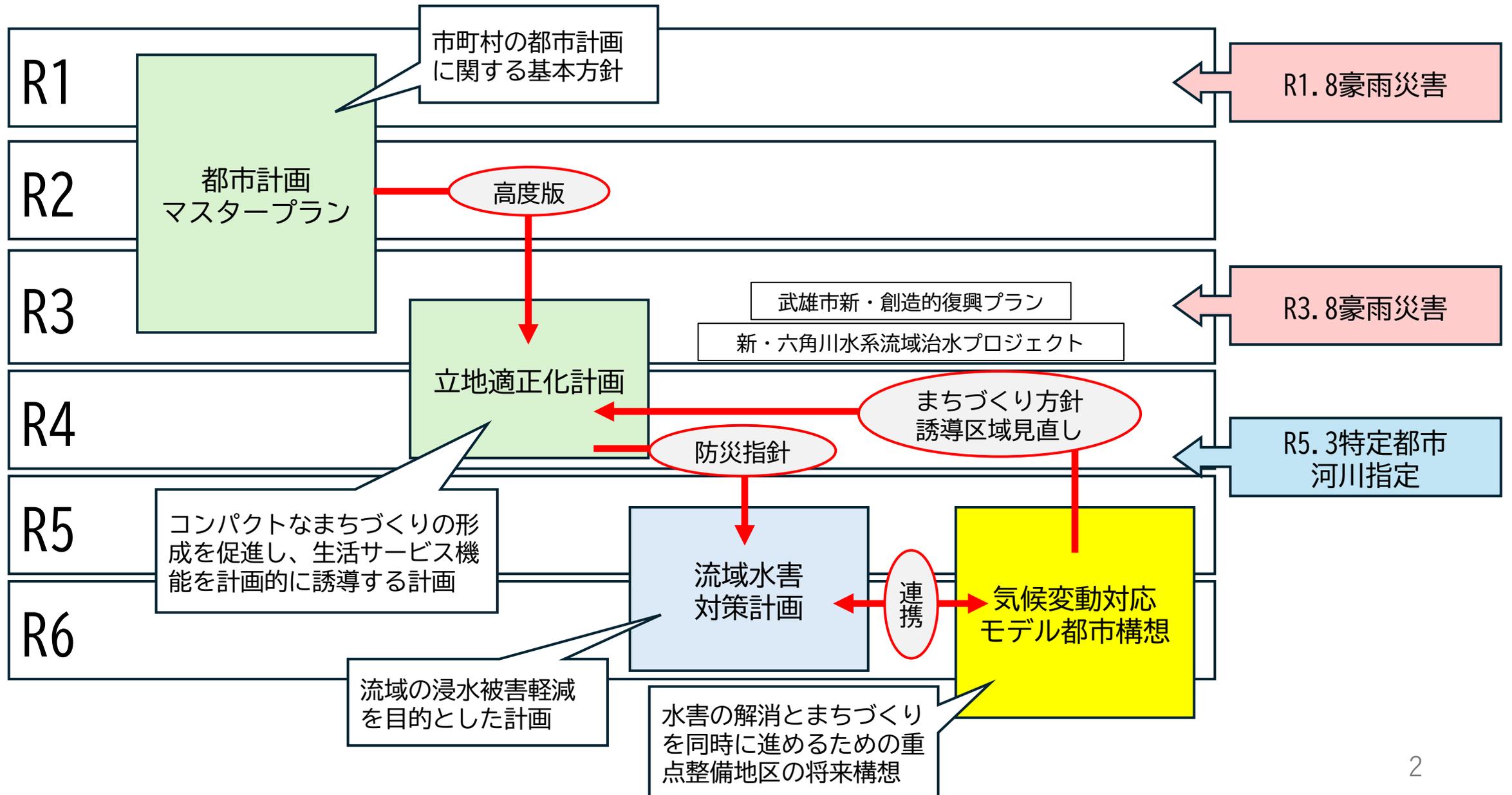
第13回 流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ  
令和8年1月6日（火）

## 武雄市の立地適正化計画と治水対策の連携について

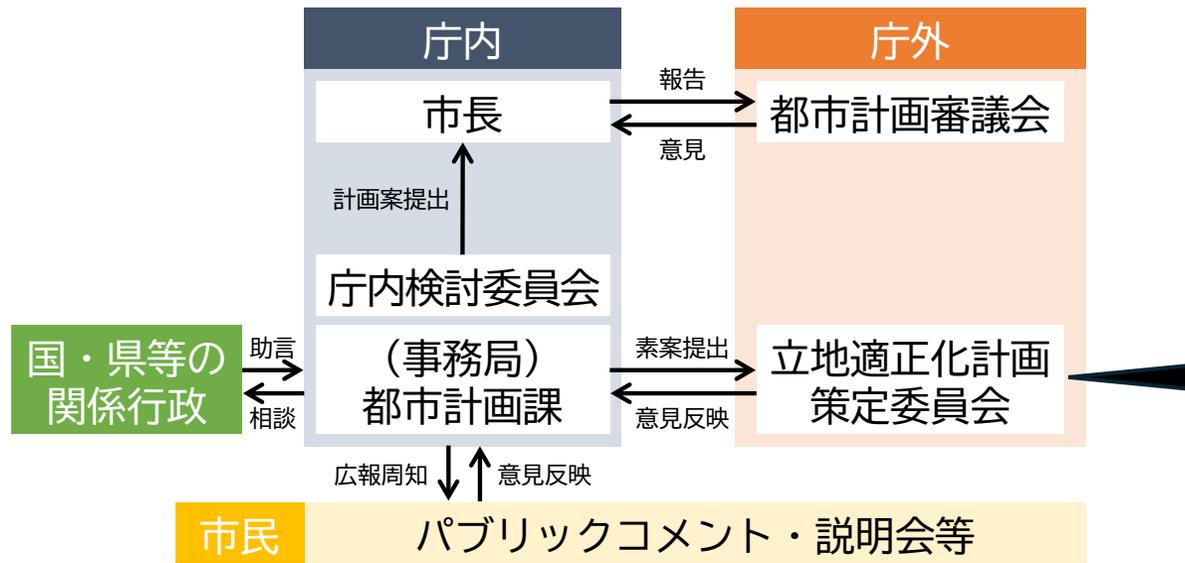


佐賀県武雄市 まちづくり部  
治水対策課 課長 吉野修一

# 立地適正化計画と流域治水（各計画の関係と背景）



# 武雄市立地適正化計画（策定体制）



学識経験者	佐賀大学工学部理工学科（水工学） 佐賀大学工学部理工学科（都市計画） 元武雄市まちづくり部長	会長
各種関係団体代表	武雄市議会産業建設常任委員会 北方町区長会 祐徳自動車株式会社 武雄市社会福祉協議会 武雄市商工会 一般社団法人おもやい 女性ネットワークたけお 東川登町地域婦人会	
関係行政機関代表	国交省九州地方整備局 武雄河川事務所 佐賀県県土整備部まちづくり課	

令和3年11月25日	第1回 武雄市立地適正化計画策定委員会	都市概要の確認
令和4年3月16日	第2回 武雄市立地適正化計画策定委員会	計画概要の協議
令和4年7月25日	第3回 武雄市立地適正化計画策定委員会	誘導区域、防災指針の協議
令和4年10月7日	第4回 武雄市立地適正化計画策定委員会	誘導区域、防災指針の協議
令和4年12月21日	第5回 武雄市立地適正化計画策定委員会	素案の検討
令和5年1月5日～2月3日	パブリックコメント	
令和5年1月13日、14日	住民説明会	
令和5年2月24日	第6回 武雄市立地適正化計画策定委員会	案の検討
令和5年3月24日	都市計画審議会	

都市計画、治水、防災  
福祉、産業、交通など



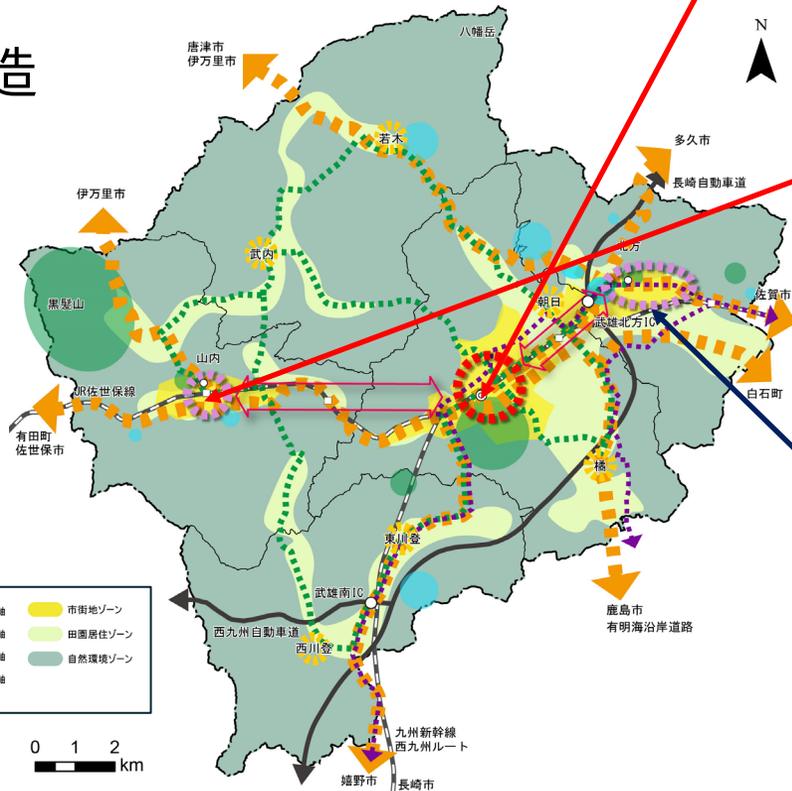
# 武雄市立地適正化計画（誘導区域について）

## 誘導区域設定の基本的な考え方

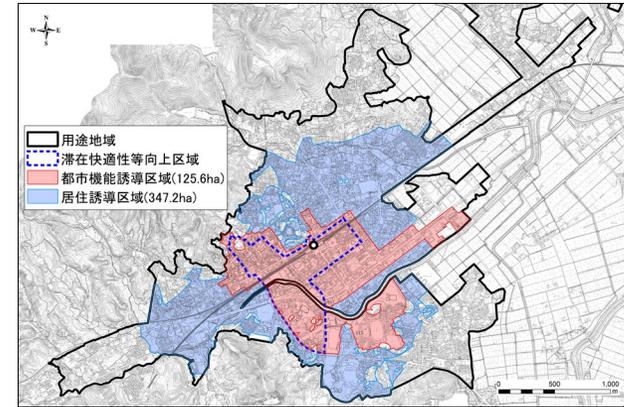
対象：都市計画区域  
(用途地域)

武雄市都市計画マスタープランにおける「中心拠点（武雄区域）」「高次地域拠点（山内区域・北方区域）」において誘導区域等の設定を検討を行った

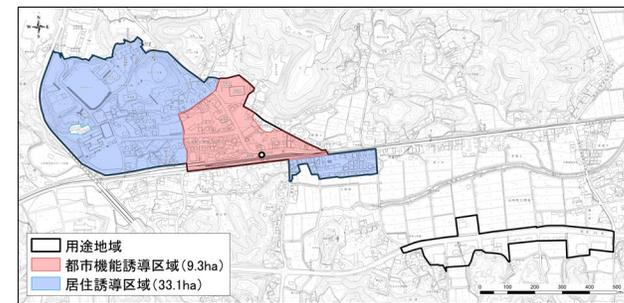
## 都市の骨格構造



## 武雄地区の居住誘導区域と都市機能誘導区域



## 山内地区の居住誘導区域と都市機能誘導区域



## 北方地区の誘導区域指定について

令和元年8月、令和3年8月と、2年で2回の豪雨災害による北方区域の被害は大きく、浸水対策など防災面において多くの課題を有していることから、国・県・市が連携した治水対策の進捗を鑑みながら、**今後も引き続き検討**

# 武雄市立地適正化計画（誘導施策について）

コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造の実現、コンパクトで安全なまちづくりの推進に向けた誘導施策

まちづくりの方針 (ターゲット)	誘導方針 (ストーリー)	誘導施策
<b>施策①</b> 拠点の形成・明確化	「武雄市都市計画マスタープラン」に位置づけている拠点において、それぞれの役割に応じた都市機能の集積を図る拠点空間を展開	対象:武雄区域 都市再生整備計画(武雄温泉駅周辺地区)など、既存まちづくり事業の推進
		対象:山内区域 気軽な文化活動の場づくり 都市機能誘導に向けた支援
<b>施策②</b> 公共交通サービスレベルの維持・向上	まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築  「武雄市地域公共交通網形成計画」と連携した公共交通施策の展開	対象:市全域 最高の子育て・教育環境づくり 生きがいと健康を実感できるまちづくり 公共施設等の施設量適正化、長寿命化
		対象:市全域 鉄道・路線バスの事業性の維持・向上 ほんわカーの運行効率化・公共交通空白地域などへのきめ細やかな対応 公共交通ネットワークとしての一体性向上 多面的な利用促進策の展開
<b>施策③</b> 防災・減災対策の実施と合わせた災害に強い地域への誘導	「武雄市 新・創造的復興プラン」等と連携した防災指針を推進し、ハード・ソフトの両面から災害に強いまちづくりを展開  災害リスクを踏まえた上で、各種関連計画に基づく施策との連携・推進を想定した居住の誘導	対象:市全域 災害に強く、安心して心豊かに暮らせる環境づくり
		対象:市全域 空家等の利活用促進

誰もが安心して住み続けられ、未来につながる交流拠点都市

目標値の設定

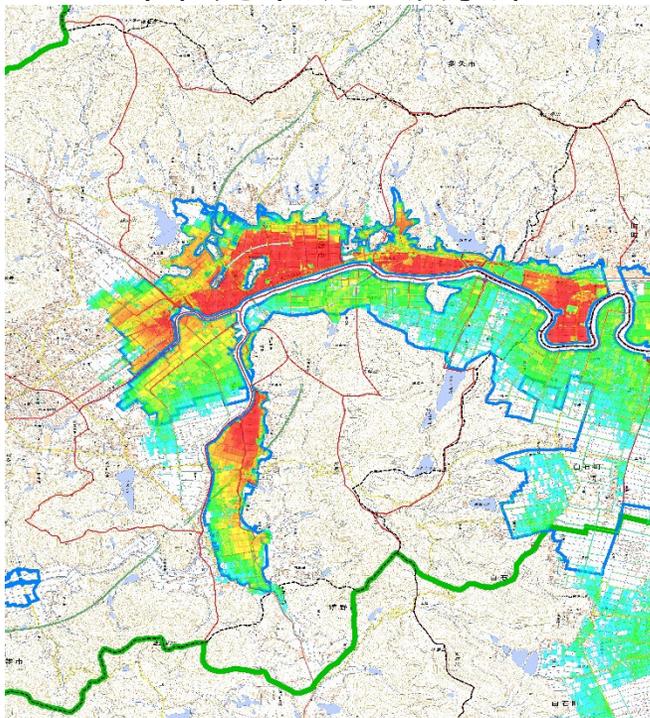
	指標	現況 (令和4年度)	目標 (令和24年度)
居住誘導に係る指標	武雄地区 山内地区 居住誘導区域内の人口密度	中心拠点 28.3人/ha 高次地域拠点 17.6人/ha	現況の値以上
都市機能誘導に係る指標	武雄地区 山内地区 誘導施設の立地数	中心拠点 19件 高次地域拠点 6件	現況の値以上
公共交通ネットワークに係る指標	市全域 市内循環バス等の年間利用者数	23,569名(2021年度) (市内循環バス ほんわー)	現況の値以上
防災指針に係る指標	市全域 浸水区域の人口	19,372名(2021年8月末現在) (R3.8豪雨床上浸水行政区人口)	現況の値の8割以上

立地適正化計画の目標

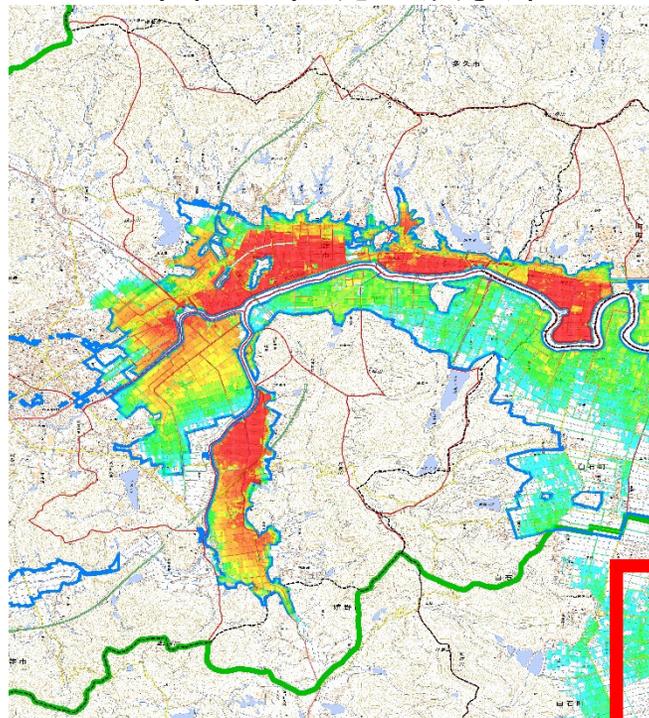
復興プランの目標

# 同一地域での多重災害と災害の高頻度化

▼令和元年8月の浸水深



▼令和3年8月の浸水深



令和元年も3年も被災エリアはほぼ同じ

▼近年の洪水実績（洪水の頻度は高まっている）

洪水発生年月	住之江橋地点流量	被害状況
昭和55年8月	約1,200 m <sup>3</sup> /s	浸水家屋（床上）：1,670戸 浸水家屋（床下）：3,165戸
平成2年7月	約2,200 m <sup>3</sup> /s	浸水家屋（床上）：3,028戸 浸水家屋（床下）：5,658戸
令和元年8月	約2,000 m <sup>3</sup> /s	浸水家屋（床上）：1,209戸 浸水家屋（床下）：2,031戸
令和3年8月	約1,900 m <sup>3</sup> /s	浸水家屋（床上）：1,248戸 浸水家屋（床下）：2,059戸

水害の解消 + まちづくり =  
(安全) (活性化)

これからの  
治水対策

六角川流域水害対策計画  
重点整備地区を設定

武雄市新・創造的復興プラン  
気候変動に対応したまちをデザイン

重点整備地区の将来構想

武雄市気候変動対応モデル都市構想

# 武雄市気候変動対応モデル都市構想の策定までの流れ

特定都市河川の指定

流域水害対策計画骨子案  
(令和6年2月公表)

重点整備地区毎に「治水  
とまちづくり」をテーマ  
に意見交換 (計9回)

地域との意見交換



学識者等による検討

流域水害対策協議会による協議

武雄市気候変動対応モデル都市構想

六角川流域水害対策計画

水とともに生きる将来的の都市像



相互に連携

流域治水の本格実践

対策の先にある未来

浸水被害が解消する治水対策

# モデル都市構想でのまちづくりの方向性（北方地区の場合）

コンパクトシティに向けた地域拠点

【主要な治水対策事業】

調整池整備、堤防整備、排水機場能力再配置

【国道34号沿線】（西部）

沿道を地域の拠点となるようにぎわいを推進

【焼米入江・排水機場周辺】（東部）

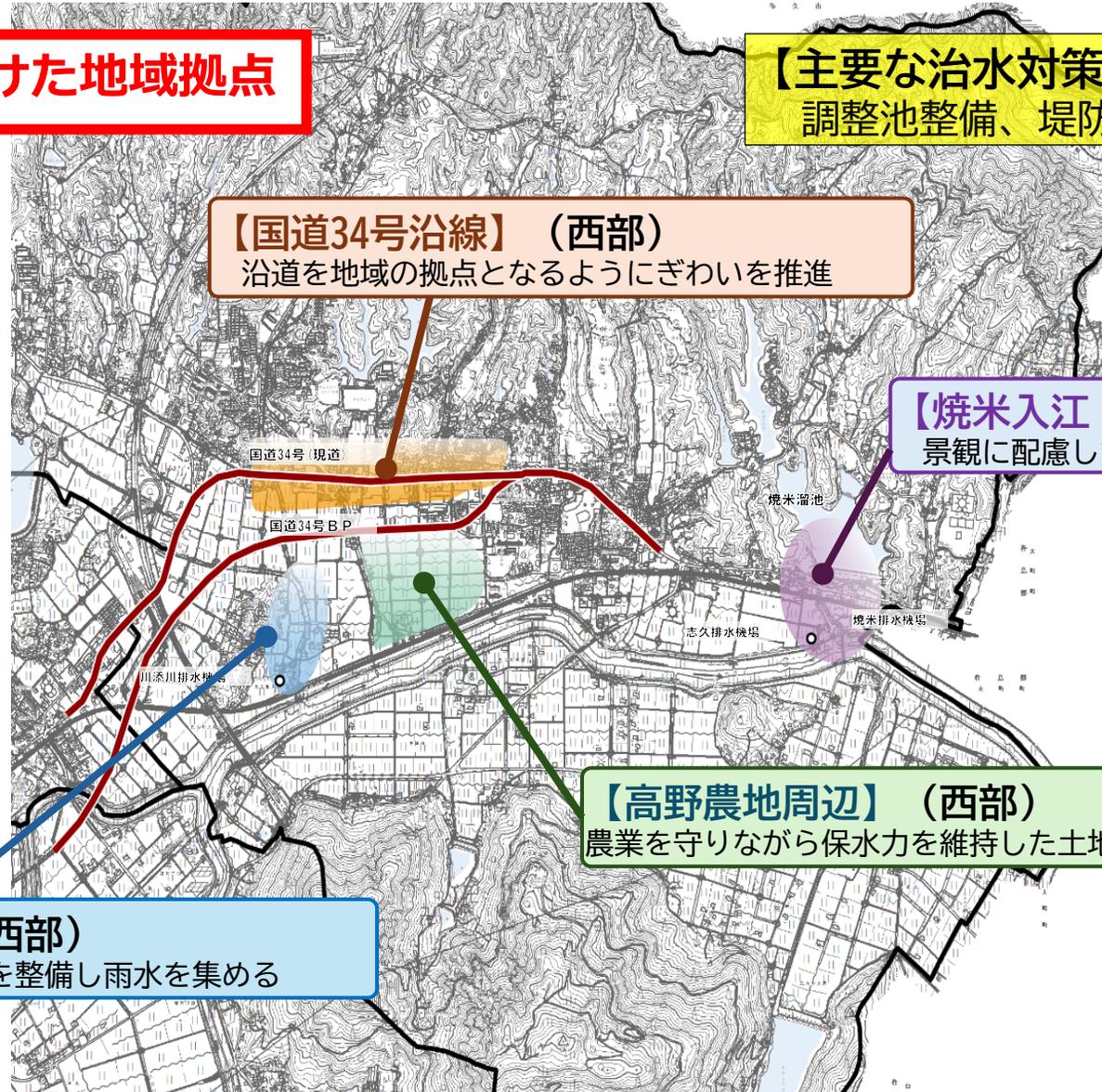
景観に配慮した堤防整備で浸水被害解消

【高野農地周辺】（西部）

農業を守りながら保水力を維持した土地利用

【川添川排水機場周辺】（西部）

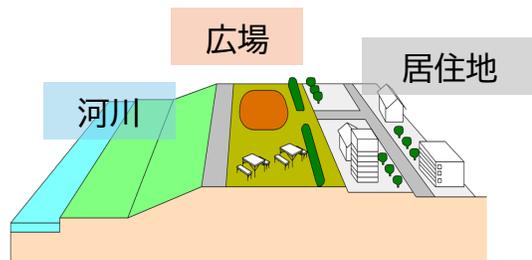
効率的な排水を行えるよう調整池を整備し雨水を集める



# モデル都市構想でのまちづくりの方向性（朝日地区の場合）

## 新たな街並みと憩いの場の創造

コミュニティエリアのイメージ



### 【主要な治水対策事業】

高橋川と中野川の合流化及び堤防整備

### 【農地保全エリア】

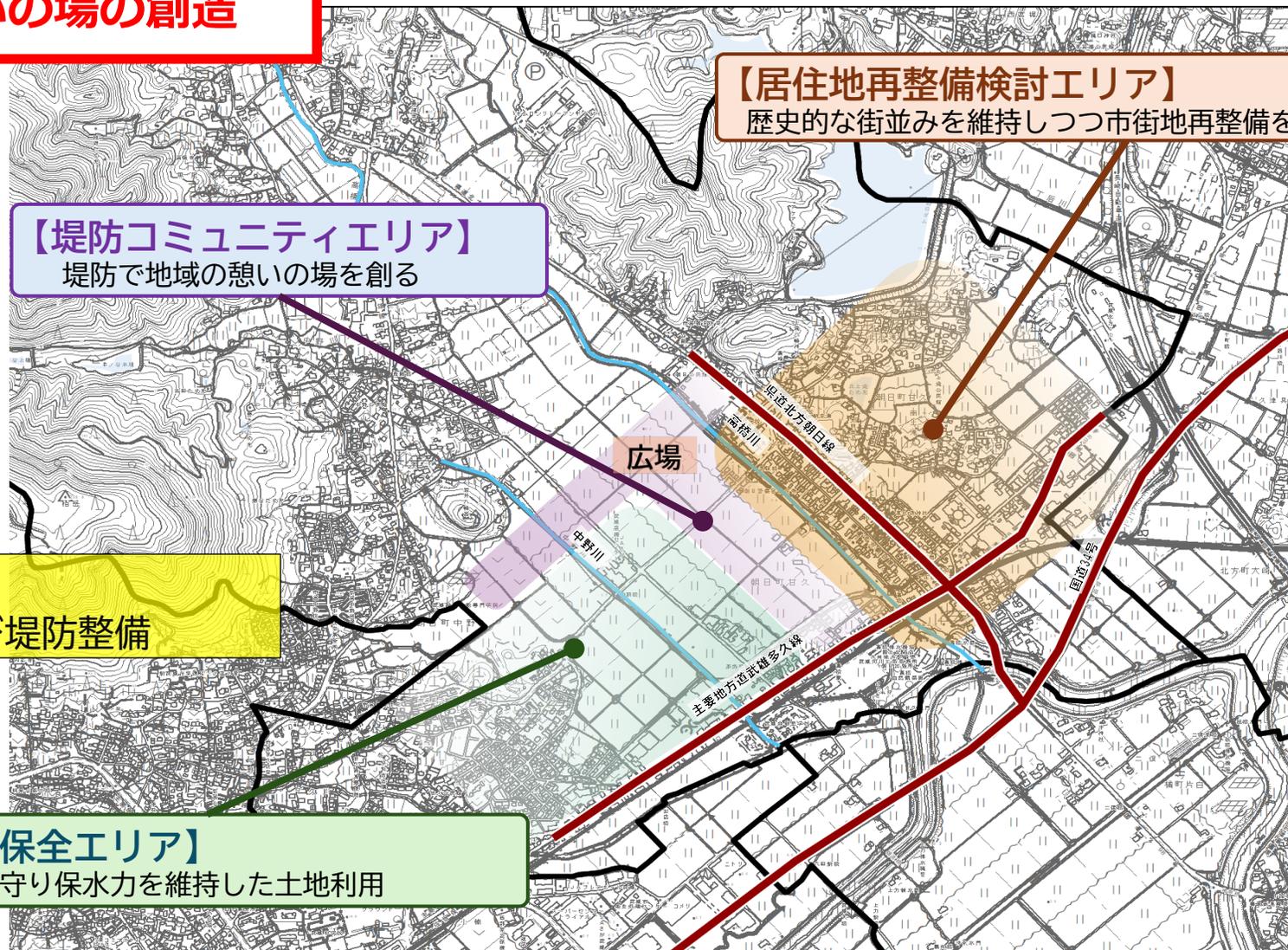
農業を守り保水力を維持した土地利用

### 【堤防コミュニティエリア】

堤防で地域の憩いの場を創る

### 【居住地再整備検討エリア】

歴史的な街並みを維持しつつ市街地再整備を推進



# モデル都市構想でのまちづくりの方向性（橋地区の場合）

**営農の継続と  
将来も住み続けたいなるまち**

**【主要な治水対策事業】**

洪水調整池整備、遊水地整備、高頻度洪水対策

**【遊水地計画エリア】（板橋）**

営農は維持、地域コミュニティを維持した居住地を確保

**【国道498号沿線エリア】（板橋）**

道路対策と一体となった居住地整備の推進

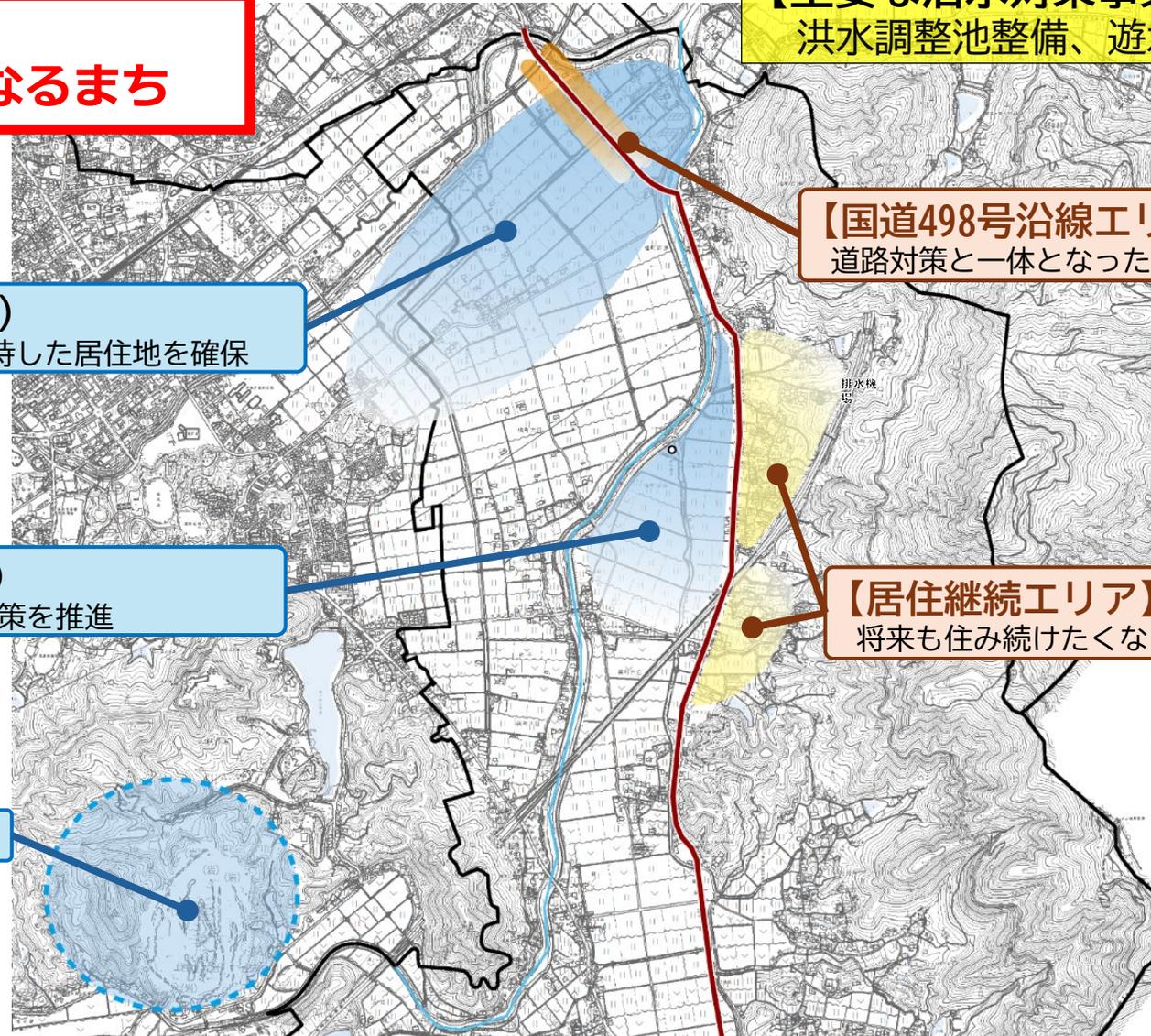
**【排水機場周辺】（東川）**

高頻度洪水対策につながる排水対策を推進

**【居住継続エリア】（東川）**

将来も住み続けたいなるような居住対策の推進

**【六角川洪水調整池】**



# 官民一体で流域治水



▲写真:ホンダカーズ中央佐賀から提供